



九州国有林から林業の新しい風を ～平成29年度重点取組事項の記者発表を行う～



記者発表にあたり挨拶を行う池田局長

4月19日、九州森林管理局では「九州国有林から林業の新しい風を」と題し、2017年度の重点取組事項について記者発表を行いました。

記者発表では、冒頭、池田直弥局長から、熊本地震からの復旧・復興へ積極的に取り組む、また、林業の成長産業化に向けて先駆的な手法を導入していく旨の挨拶があり、その後、林視計画保全部長、大政康史森林整備部長より各事項の具体的な内容について説明を行いました。説明後の質疑応答では、造林コスト低減への取り組みに対する具体的な内容、熊本地震被害箇所の復旧状況、シカ被害対策への取組状況などについて質問があり、取り組みに対する理解を深めて頂き、重点取組事項の記者発表を終了しました。

なお、九州森林管理局が取り組む、九州地域における林業の成長産業化の実現に向けた重点取組事項は次の7項目です。

① 確実な再造林の実施 と低コスト化の推進

【民有林への普及を念頭ににした林業の低コスト化などに関する先駆的な手法を導入】

・ 持続的な森林経営が期待される人工林にあつては、公益的機能の発揮及び資源の確実な造成を図る観点から、伐採後の再造林を確実に行う必要があるため、造林コストの低減等が課題。

・ 民有林への普及を念頭ににした林業の低コスト化等に関する先駆的な手法を積極的に導入するとともに、国有林野の管理経営や民有林において、低コストで高効率な施業が普及・定着するよう取り組むことが必要。

② 原木の安定供給体制の構築

【林業事業者と連携して、工程管理や事業内容の改善など生産性向上の取り組みを推進】

・ 路網整備の推進等により生産性は徐々に向上しているものの、生産性向上の大きな鍵となる作

業システムの効果的な運用は十分にされていない状況。

・ 林業事業者等においては、生産性向上とコスト低減の取組に加えて、需要に応じた原木供給に不可欠な生産管理や原価計算といった取組も重要。

③ 深刻化するシカ被害への対応

【シカ被害対策協定に基づく取組など、地域一体での森林被害対策を推進】

・ シカの増加、生息域の拡大により森林の被害が深刻化。2013年に環境省と共同でとりまとめた「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」により、シカの生息数を10年後までに半減させることを目標。

・ 一方、担い手である狩猟者は著しく減少・高齢化しており、こつした中で、地域が一体となった森林被害対策への取組が必要。

④ 優れた自然環境を有する森林の保全

【地元関係者と連携しながら遺産候補地などの森林生態系の保全対策を推進】

・ 生物多様性に関する科学的知見や保護地域の管理手法の高度

化等に伴い、今般、保護林制度について見直しを実施し、生物多様性の保全に配慮した、簡易で効率的な管理体制を再構築。
 ・また、世界自然遺産候補地の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」については、森林生態系保護地域の設定等を行っており、地元関係者と連携しながら貴重な森林生態系の保全対策等を実施。

⑤ 森林総合監理士の活動を通じた地域課題への対応

【民国の森林総合監理士が連携して市町村林政に対する技術的支援を推進】

・市町村森林整備計画の策定を技術的に支援する「森林総合監理士」については、各種研修等の実施により人材が確保されつつある状況。



説明を行う両部長

・森林管理局・署や県の森林総合監理士が連携し、市町村森林整備計画の策定等の市町村林務行政に対する技術的支援を実施することが重要。

⑥ 森林景観を活かした観光資源の創出

【「レクリエーションの森」を山村地域における観光資源として積極的に活用】

・観光先進国の実現に向けて、政府が一体となってインバウンドをより一層推進するための取組が必要となっており、山村地域においても、インバウンド需要を呼び込むことが課題。
 ・国有林の「レクリエーションの森」を山村地域における観光資源として活用し、需要の拡大を図るために、魅力向上のための「磨き上げ」が必要。

⑦ 被災地の森林・林業の再生に向けた取組への貢献

【地元自治体や関係者と連携を密に図り、被災箇所を早期復旧と創造的復興に貢献】

・平成28年熊本地震では、山腹崩壊や地すべり等の林地荒廃、法面・路肩の崩壊等の林道施設の被害などが多数発生。



説明を聞く報道各社

・復旧復興に向けて、国有林野における被害の復旧に取り組むとともに、県・市町村と連携して、被災地の森林・林業の再生に向けた取組に貢献。

※平成29年度重点取組事項は、九州森林管理局HPのキーワード「九州森林管理局の重点取組事項」からご覧になれます。
 (担当II企画調整課)

ALL西都でシカ対策

【西都児湯森林管理署】4月7日、西都市（西都市役所）において、国・市・全ての西都地区猟友会の3者による、「西都市全域で行うシカ被害対策協定」の調印式を行いました。



調印式の模様

これまでのシカ捕獲・防除対策は、国有林・民有林のそれぞれが、各々のエリア内において実施しており、また、猟友会は西都地区内の各支部においてそれぞれが、西都市への有害鳥獣許可の申請を経て、国への入林許可手続きを行っていました。
 今回は、その状況を打破し、西都市行政全域（ALL西都）で行う即効性のあるシカの捕獲、里山環境の健全化が行えるように、国（西都児湯森林管理署）市（西都市）猟友会（西都地区猟友会）の3者で協定を締結し、国は、シカの捕獲に使用する「くくり罠」300基を無償貸与し、市は、適正頭数の管理を行うための情報提供や被害対策の支援・技術指導などのバックアップを行い、西都地区猟友会がス



調印を終えた3者

ムースに捕獲を行える体制を構築したものです。
 西都市の行政区は、民有林が国有林を囲む状況になっており、今回の協定締結により、西都地区猟友会各支部が、国有林と隣接する民有林地内で一気に捕獲圧をかけ、農地への直接的被害を低減化させ、その後国有林への捕獲圧を一齐にかけることにより、林業被害の低減化を図っていきます。
 当署では、昨年度の木城町駄留地区での協定や、西都市との協定を締結したことにより、広域的なシカの捕獲に取り組み、今後も、シカの適正頭数への誘導、及び農林業の持続的生産と供給による、地元農山村の活性化を推進していきます。

治山・林道コンクール表彰式を行う

◆優良工事施工業者・技術者・監督員を表彰◆

平成28年度治山・林道工事コンクールの表彰式を4月6日、局長室において行いました。

このコンクールは2015年度に施工した工事で、事業効果の発現が顕著なものについて、実施要領に基づく取り組みテーマ（コスト縮減・技術提案・環境配慮）に合致した工事の中から、優良工事が選定され、工事内容が良好で他の模範に当たると判断された、治山工事3社、林道工事3社に対して局長表彰を行いました。



長官賞・局長賞を受賞された皆さんと

また、局長表彰に併せて九州

森林管理局より林野庁へ推薦した2社の工事が、林野庁長官賞（治山工事1社・林道工事1社）を受賞されたことから、屋久杉の額縁を贈呈し、当該工事の担当技術者並びに監督職員に対し、局長表彰を行いました。

なお、監督職員への表彰は、別途4月24日に行いました。受賞者は次のとおりです。

◆林野庁長官賞

○第二丸山治山工事

《佐賀署発注》

牟田建設株式会社

代表取締役 牟田正明

○尾鈴245林道新設工事

《西都児湯署発注》

株式会社桑原建設

代表取締役 桑原常雄



受賞された監督職員（前列中央）



表彰式の模様

◆九州森林管理局局長賞

【工事の部】

○水無平1治山工事

《宮崎北部署発注》

牟田建設株式会社

代表取締役 木田壮一郎

○霧島治山工事（荒襲）

《宮崎署都城支署発注》

株式会社財部組

代表取締役 財部千鶴子

○桜島地区治山工事（あみだ川第1支流）

《鹿児島署発注》

株式会社森山肇組

代表取締役 樋口憲二

○椎葉白岩林道（コヤンバ側新設工事）

《宮崎北部署発注》

第一建設株式会社

代表取締役 橋邊正之

○蕨ヶ野14林道新設工事

《宮崎署都城支署発注》

丸宮建設株式会社

代表取締役 河野一治

○権現ヶ尾林道新設工事

《鹿児島署発注》

株式会社森山肇組

代表取締役 樋口憲二

【技術者の部】

○第二丸山治山工事

主任技術者 平川健二

（牟田建設株式会社）

監督職員 浅尾純治

佐賀署（現屋久島署）

○尾鈴245林道新設工事

主任技術者 田中雄二

（株式会社桑原建設）

監督職員 藏富英典

西都児湯署（現宮崎南部署）

（担当川治山課）

九州初の協定を締結

【宮崎南部森林管理署】今回、日南市長と宮崎南部森林管理署長との間で「地域の安全確保に向けた森林情報の共有及び長期的な森林の育成に関する協定」を締結しました。

この協定は、地域の生活・安全のため、相互に森林情報の共有を図り、健全な森林の育成に資することを目的とするもので、九州森林管理局管内で初となるものです。

調印の後、石神智生署長から「宮崎南部森林管理署は藩政時代からの流れを汲む飢肥林業や



協定を締結した署長（左）と日南市長

分収造林制度などで日南市や地域住民の皆様とのつながりが特に深い。今回の協定を契機に更に日南市と連携・協力を図っていききたい」と挨拶を行いました。

また、崎田恭平市長からは「オビシギや日南市の森林は地域の大切な宝、宮崎南部森林管理署と連携を図りながらしっかりとこの森林を守り、未来に繋いで行きたい」との挨拶がありました。

なお、この協定では、日南市の森林整備計画の作成や、地震等により重大な森林被害が発生した場合の復旧等に森林管理署が可能な範囲で技術的支援を行うことなどについても盛り込まれており、今後も日南市との連携・支援を強化していくこととしています。

新任挨拶 どうぞよろしく

平成29年4月1日付の異動により、新しいポストに就かれた、次長（業務管理官）・地域木材情報分析官・2人の部長・5人の課長・6人の森林管理（支）署長をご紹介します。

次長（業務管理官）



田口 護
たぐち まもる

をB.馬鹿にしないで C.ちやんとやる D.できるまでやる E.笑顔で

地域木材情報分析官



石神 智生
いしがみ ともお

総務企画部長



両角 実
もろずみ みのる

有林が安定的に素材や立木を供給することにより、地域の森林・林業・木材産業の再生や林業の成長産業化へ貢献出来るよう努力したいと思えます▼よろしくお祈りします。

計画保全部長



林 視
はやし のぞむ

健康で災害のない明るい職場づくりに全力で取り組んで参りますのでよろしくお祈りします。

総務課長



古閑 博行
こが ひろゆき

企画調整課長



勝沼 太志
かつぬま ふとし

年齢 55歳
出身地 岐阜県
前職 四国局森林整備部長
抱負 九州局に赴任して先ず感じたことは、局署の職員が九州から日本の林業・木材産業を変えていくための気概を持って様々なことにチャレンジしていることです▼とても素晴らしいことだと思います▼私たちの使命は、国有林の管理経営を通じて事業実施主体として、政策実現、地域活性化などに取り組むことです▼私も、皆さんに負けないよう「ABC+D+E」をモットーに頑張ります▼よろしくお祈りします。※A:当たり前のこと

年齢 57歳
出身地 鹿児島県
前職 宮崎南部署長
抱負 指導普及課以来、5年ぶりの本局勤務となり、主に国有林材の供給調整を担当することとなりました▼九州では人工林を中心とした森林資源の充実とともに、生産規模の拡大や、木材の需要構造の多様化・拡大等、ここ数年で林業・木材産業を取り巻く状況が大きく変化してきていると感じています▼国

年齢 56歳
出身地 岐阜県
前職 林野庁入札契約技術企画官
抱負 まずもって、熊本地震により被災された職員の皆様、また、ご家族の皆様にお見舞い申し上げます▼私は、平成5年、当時の西都宮林署勤務以来、じつに24年ぶりの勤務となります▼震災より1年が過ぎ、本年度は、まさに復旧・復興が本格化する年であり、地域における安心・安全の確保をはじめ、森林・林業の成長産業化を進めるうえで期待される国有林野事業が円滑に推進するよう、心身ともに

年齢 56歳
出身地 大阪府
前職 林野庁国有林野総合利用推進室長
抱負 九州森林管理局勤務は初めてとなります▼有名な林業地が発展してきた地域で、また、全国に先駆けた取組を進めている局で勤務できることを嬉しく思っています▼これまでの局の先輩方の労苦により育まれてきた森林を上手に活用しつつ、次の世代に引き継いでいくことを心がけ、民有林と連携しつつ国有林が地域の振興や安全・安心な生活に役立つよう、職務に取り組んで参りたいと考えていますので、よろしくお祈りします。

年齢 34歳

出身地 茨城県
 前職 林野庁経営計画官
 抱負 宮崎署、企画調整室での勤務以来、8年ぶりの九州局勤務となります▼九州の林業・木材産業の成長産業化に向けて、民国連携の取組、予算の調整、情報システムの整備等、少しでも力になれるよう全力で取り組んで参りますので、ご指導よろしくお願ひします。

保全課長



矢島 欣也
 やじま きんや

年齢 57歳
 出身地 熊本県
 前職 鹿児島署次長
 抱負 生物多様性機能や水土保全機能を低下させ、林業の成長産業化の足かせとなっているシカ被害等鳥獣被害対策については、地域や関係機関と連携して取り組むとともに、地域の振興や地域住民の福祉の向上に寄与するための各種要請については、適時適切に対応してまいりますのでよろしくお願ひします。

治山課長



山下 和也
 やました かずや

年齢 59歳
 出身地 熊本県
 前職 治山技術専門官
 抱負 昨年発生した平成28年熊本地震・6月豪雨災・台風16号等と各地で甚大な被害をもたらした箇所について民心の安定に寄与するため早期復旧を目指します▼特に28年熊本地震においては、熊本県からの要請を受け民有林の被災箇所について工事を代行して行う事としており、関係機関との連携を密にしながら復旧に向けて取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

森林整備課長

年齢 56歳
 出身地 熊本県
 前職 宮崎署都城支署長
 抱負 林業の成長産業化に向けてトータルコストの低減を図



山部 義臣
 やまべ よしおみ

るため、一貫作業システムの実施やコンテナ苗の安定供給に向けた情報発信、また事業を遂行するための根幹である林道整備などを確実に進めたいと考えており、そのためには、各署との連携を確実に、安全で効率的な事業運営に取り組んで参りますのでよろしくお願ひします。

長崎森林管理署長



秋山 郁男
 あきやま ふみお

年齢 58歳
 出身地 福岡県
 前職 大分西部署長
 抱負 長崎署の国有林は、雲仙天草、西海、壱岐対馬等の多くの自然公園に指定され、離島を含む広範な面積となっており▼事業運営にあたっては国民

の視点に立ち、民国連携を進め、眉山や雲仙普賢岳を始めとする災害対策を地域と連携し着実に進めるとともに、心身ともに健康で災害のない明るい職場づくりに努めて参ります。

大分西部森林管理署長



益田 健太
 ますだ けんた

年齢 48歳
 出身地 埼玉県
 前職 林野庁研究指導課課長 補佐

抱負 行き交う木材輸送トラックや、いくつもの市場にうずたかく集積した丸太に当地での林業の存在感を思いました▼森林はもとより職員の知識や経験を国有林の資源として、地域の課題を的確に捉え解決に向けた提案が次々と生まれる明るい職場づくりを心掛ける所存です。

西都児湯森林管理署長

年齢 57歳
 出身地 愛媛県



金井 正典
 かない まさのり

前職 関東局伊豆署長
 抱負 低コストには、季節、技術も重要です▼時期を失した下刈り、立木の下への植付、根が地面から出ている植付などの無駄をなくします▼シカ被害をなくすための方法を考え、良い山づくりができる環境をつくりたいと思っています▼先進地九州の指導をお願ひします。

都城支署長



前杉 成美
 まえすぎ なりみ

年齢 58歳
 出身地 鹿児島県
 前職 森林整備部企画官
 抱負 大型製材工場が多く操業する当地域への立木・素材の安定供給、新燃岳・硫黄山の火山対策、霧島連山の国立公園を

中心とした観光資源の活用など
国有林に対し地域から多様な要
望がありますが、民有林との連
携を深めつつ国有林が地域貢献
できるよう、安全で明るい職場
作りに取り組んで参りますので
よろしくお願ひします。

宮崎南部森林管理署長



安達 寛己
あだち ひろみ

年齢 58歳
出身地 大分県
前職 四国局森林整備課長
抱負 宮崎県内の勤務は、新
採がえびの署で担当区主任（現
森林官）が西都署、次長が宮崎
署で今回宮崎南部署、ついでに
女房も西都市で非常に縁がある
ところですよ▼これまで、持ち場
立場で一生懸命頑張ることをセッ
トにやってきましたが、これ
を貫くとともに、宮崎南部署が
地域の方々に「やっぱり宮崎南
部署が在って良かった」と言っ
てもらえるよう職員一丸となっ
て頑張っていくと思うしていま
す。

屋久島森林管理署長



川畑 充郎
かわばた みつろう

年齢 55歳
出身地 鹿児島県
前職 四国局愛媛署長
抱負 屋久島は私の原点であ
り約30年ぶりの2度目の勤務とな
りますが、世界自然遺産の縄文
杉などの貴重な森林生態系の整
備・保全と種子島を含めハンディ
のある離島林業の振興に尽力し
たいと考えています▼そのため
にも職員の方のご協力を頂
きながら、災害のない明るい職
場づくりに全力で取り組んで参
りますのでよろしくお願ひしま
す。

民・国路網連結を検討

【北薩森林管理署】3月9日に、
当署の出水森林事務所及び日本
製紙社有林において、出水森林
整備推進協定運営会議・現地検
討会を実施しました。



現地検討会の模様

当日は、北薩森林管理署、国
立研究開発法人森林研究・整備
機構森林整備センター、北薩森
林組合、日本製紙株式会社、株
式会社水田林業及び鹿児島県北
薩地域振興局、出水市の関係者
など20人が参加しました。
運営会議では、前田三文北薩
森林管理署長の「推進協定・共
同施業団地の一番のメリットは、
民・国が連携し意見交換・情報
共有すること」との挨拶に続い
て、平成27年度事業実績報告、
平成28年度事業実行の見込み及
び今後の事業計画について、各
協定者からの報告・説明があり
ました。
運営会議終了後は、会場を日
本製紙社有林に移し、現在、共
同施業団地において民・国の路
網連結に取り組んでいる、当署
と日本製紙（株）が、検討状況

熊本林業土木協会から緑の募金

緑の募金運動は、国土緑化
運動の中核的な推進手段とし
て国民参加の森林づくりを推
進するために一層の進展が期
待されるとともに、「森づく
りと木づかい」を通じて東日
本大震災や熊本地震の復興を
支援していくことが求められ
ています。



来局された協会員と局の幹部

このため、「緑の募金全国
一斉強調月間」として、「みど
りの月間」（4月15日～5月14
日）を重点的に募金活動が展
開されています。



山本会長(左)より募金を贈呈

を報告するとともに、北薩地域
振興局から路網などに関する県
の支援事業の説明を受けた後、
質疑・意見交換などを行い、今

九州森林管理局局長室におい
て、緑の募金贈呈式が行われ、
（社）熊本林業土木協会会長
山本求道氏から池田直弥局長
へ募金が手渡されました。
（社）熊本林業土木協会か
らは毎年募金の贈呈が行われ
ており、局内の募金とあわせ
て国土緑化推進機構及び熊本
市地域みどり推進協議会に送
られ、全国の森林整備や緑化
推進事業に活用されています。
（担当II技術普及課）
後の路網連結の着実な実行と、
新たな共同施業団地の設定の検
討を行うことを確認し、運営会
議・現地検討会を終了しました。

林業大学生が来署

【屋久島森林管理署】4月18日、入学して間もない長野県林業大 学校1学年の校外研修の一環と して学生20人と職員2人が、屋 久島の森林・林業を学ぶため昨 年度に引き続き屋久島森林管 理署を訪れました。

はじめに、植薄和彦森林技術 指導官から屋久島の森林・林業 の概要について説明を行い、続 いて、廣田俊之森林整備官から ヤクスギの歴史と現状について 説明しました。

学生たちは、当署安房貯木土 場に保管されている、樹齢千年 を超えるヤクスギ（土埋木）の 存在感ある大きさや目の詰まっ



来署した林業大学校の皆さん

た美しい年輪を見て、その品質 の高さに驚いた様子でした。

また、ヤクスギを加工する伝 統工芸に関心を寄せたり、現在 も走り続けている森林軌道の歴 史にも興味を持ち、軌道の延長 や現在どのような役割を果たし ているかなどの質問がありまし た。

そして、屋久島島内の重要な 課題の一つにもなっている、ヤ クシカによる被害状況について

の質問が出るなど、学生達の関 心の高さを感じました。

今回、屋久島の森林・林業に ついて学んで頂きましたが、さ らに様々な研鑽を重ねてもらい、 これからの日本の森林・林業を 担う人材になってもらいたいと 大いに期待しています。

当署では、今後も外部からの 研修などの受け入れを積極的に 行い、人材育成に努めていく考 えです。



中国原産ですが、現在は暖地 に野生化した雌雄異株の常緑低 木です。葉草として有名で、葉 効部分は根の紡錘状に肥厚した 部分です。葉草と聞き、枝や葉 を持ちかえり煎じて飲んだとい う笑い話もありますが、テナダ



根の肥厚部分



イウヤクを観察するときには根の 部分を探して、この肥厚部分を 観察しましょう。（元通りに埋 め戻すことが必須）

名前は天台烏薬の音読みです。 中国の天台山に産する烏薬が名 品であることからこの名で呼ば れるようになりました。

クスノキ科で葉の基部の3行 脈が目立ちますが、葉を揉んで 嗅いでもクスノキ科特有の匂い はあまり強くないようです。

若い葉は表裏褐色軟毛を密布 しますが、後には葉表は緑色、 無毛で光沢があり、裏面は粉白 色、軟毛と微毛があります。

樹木園では、西側の駐車場横



職員の説明を受ける生徒達



今年のゴールデンウィークは皆 さんどのように過ごされました か▼旅行や各種イベントへの参 加などいろいろあります。4 月に入って各地から山開きの声 が聞かれたことから、山登りを された方も多かったことだと思 います▼春の新緑、山を彩るツ ツジなど、この季節にしか見れ ない山の恵みを満喫された事だ と思います▼入山といえば、 「世界自然遺産の島」屋久島で は、3月1日から入山協力金制 度を導入、8割近くの登山者が 協力との記事がありました▼協 力金は、登山シーズンの3、11 月に、縄文杉や宮之浦岳などの 「奥山」に入る中学生以上の登 山者から任意で徴収、避難小屋 トイレのし尿搬出や登山道整備 の費用にあてられるとのこと▼ ただ、白谷雲水峡とヤクスギラ ンド内の施設整備にあてる協力 金と混同し、「なぜ二度も」と いった声もあり、今後一本化で きるよう協議するそうです▼特 に今年は縄文杉発見50周年で、 屋久島を訪れる人が多いでしょ うが、入山の際は協力金への理 解と協力をお願いしたいと思います。

(キ)